

## 2021年「世界知的財産権指標」報告書によると、2020年の中国の特許、 商標、意匠の出願件数はいずれも世界第1位となった

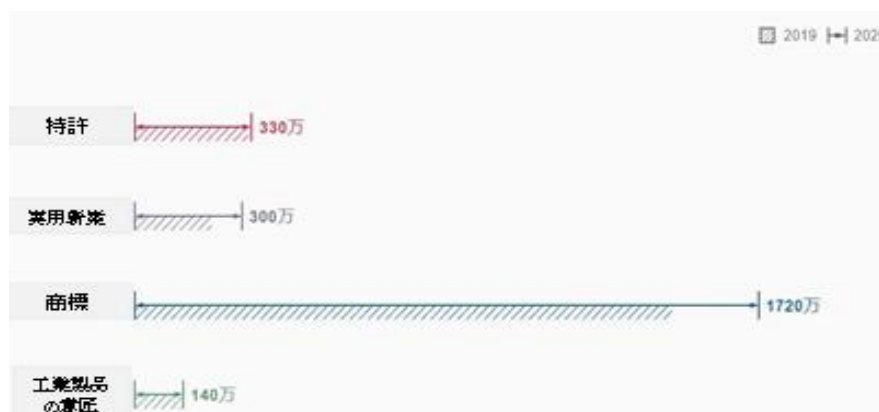
WIPOはこのほど、「世界知的財産権指標」報告書を発表した。2020年、中国は世界特許出願件数の45.7%、世界商標出願件数の54%以上及び世界意匠出願件数の55.5%で世界1位となった。HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD(華為)は5464件のPCT特許出願で「PCT出願ランキングトップ10」の1位となり、京東方科技集团有限公司(BOE Technology Group Co.,Ltd.)とOPPO移動通信股份有限公司はそれぞれ、1892件と1801件で7、8位となった。

財産権組織の「世界知的財産権指標」報告書(WIPI)によると、2020年は特許や工業製品の意匠出願が持ち直しており、厳しい世界衛生情勢の中でも、人間のイノベーションが持つ復元力を示している。世界的な景気後退を恐れず、2020年に商標出願活動が活発化したことは、起業家が活気に満ちていることを示し、大流行病に対応するために新しい商品やサービスを発表した。

### 全体的な知的財産権の増加

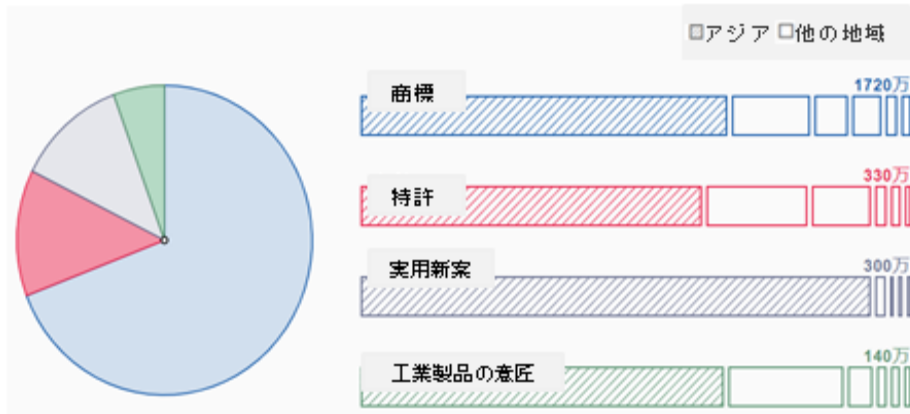
- 1 WIPIのデータによると、2020年の世界の商標出願活動は13.7%を増加し、特許は1.6%を増加し、意匠は2%を増加した。報告書は約150の国と地域の管理局の新しいデータをまとめ、企業の拡大と新たな成長を求めるために、イノベーション者、デザイナー及びブランドが如何に知的財産ツールでますます依存しているのかを示している。
- 2 世界の特許出願件数は330万件を超え、商標出願件数は1720万件、工業製品の意匠出願件数は140万件に達した。特別な形の特許権である実用新案出願は28.1%増の300万件だった。

### 2020年の世界知的財産権の出願活動



地域別での知的財産権出願活動シェア

2020年に知的財産権の出願が殺到した地域は？

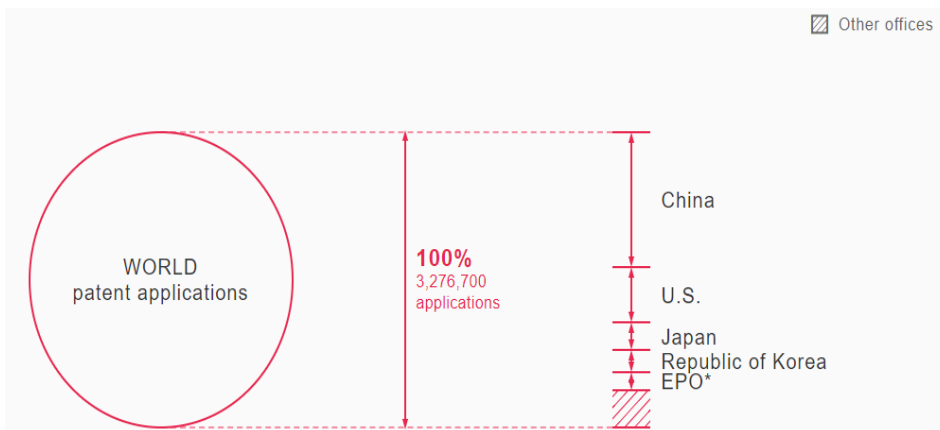


2020年にアジア知識産権局が受領した特許、実用新案、商標及び工業製品の意匠の出願件数は最も多く、それぞれ世界全体の66.6%、98.4%、71.8%、70.9%に達した

一、特許と実用新案

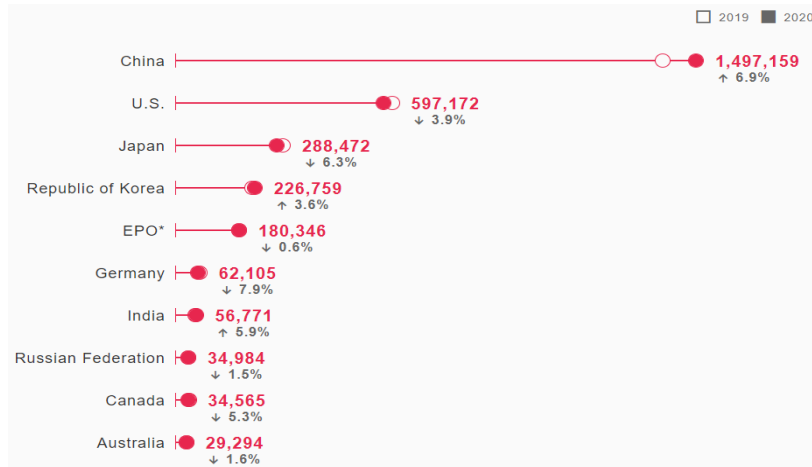
(一) 特許出願総件数

2020年、85%以上の特許出願は中国、米国、日本、韓国とヨーロッパの知的財産権局で発生した。中国の場合、世界の総量の45.7%を占めている。



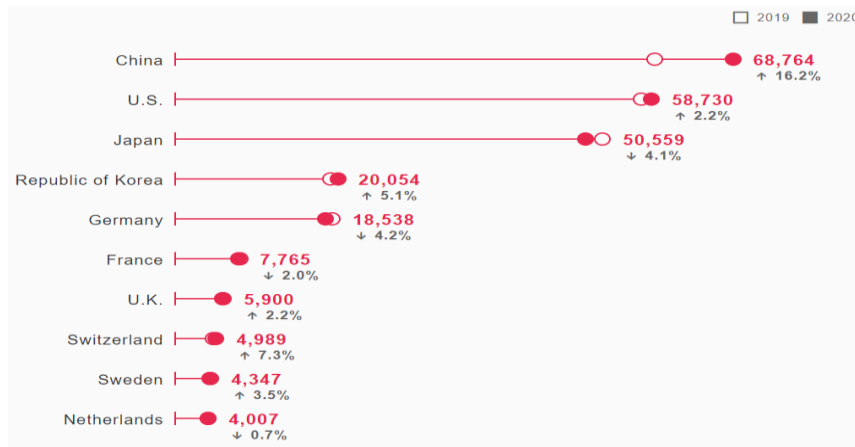
## (二) トップ 10 の主管局の特許出願

2020 年、中国知的財産権局は特許出願を 150 万件受理した。それに続くのは米国、日本、韓国とヨーロッパの主管局であった。2020 年、トップ 10 の主管局の受理件数は全世界の総件数の 92%を占めている。



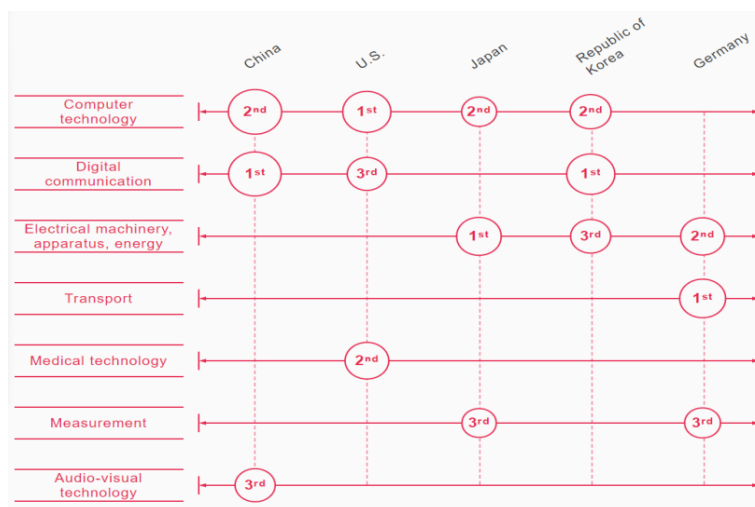
## (三) PCT ランキングトップ 10 の国

2020 年の PCT 国際出願件数は約 274,880 件であった。全世界でコロナウイルス大流行の状況で、2019 年より 3.6%成長し、2010 年以来の上昇傾向を維持してきた。中国出願人によって提出された PCT 出願が最も多かった。米国、日本、韓国とドイツはトップ 5 となった。2020 年にトップ 10 の国の件数は出願総件数の 8.6%を占めている。



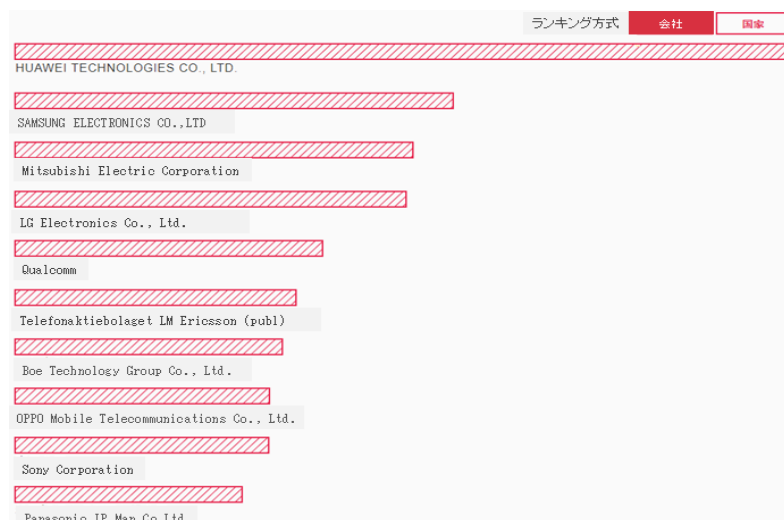
## (四) PCT 出願のホットな技術分野

中国と韓国の出願人による特許出願はデジタル通信分野に集中され、米国出願人の場合、コンピューター技術分野での出願が最も多かった。日本の場合、最先端の技術分野はモーターであり、ドイツの場合、交通運輸であった。



### (五) PCT ランキングトップ 10 の出願人

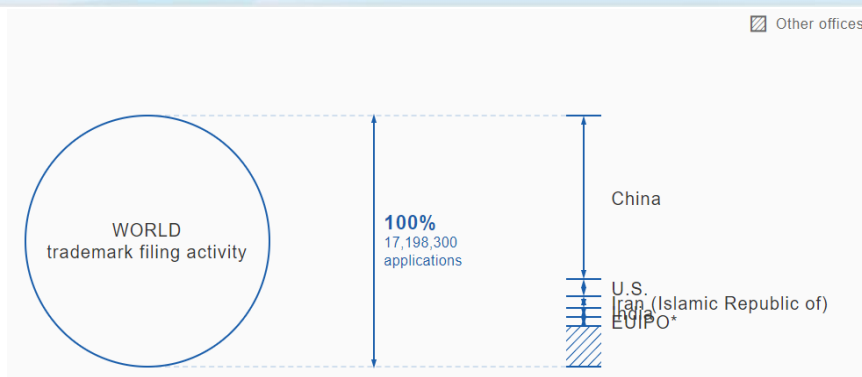
2020 年、中国の華為技術は依然として PCT 国際出願ランキングの 1 位であった。それに続くのは韓国のサムスン電子、日本の三菱電機、韓国の LG エレクトロニクス、米国のクアルコムであり、トップ 10 の中で、八つのは北東アジアにある。



## 二、商標

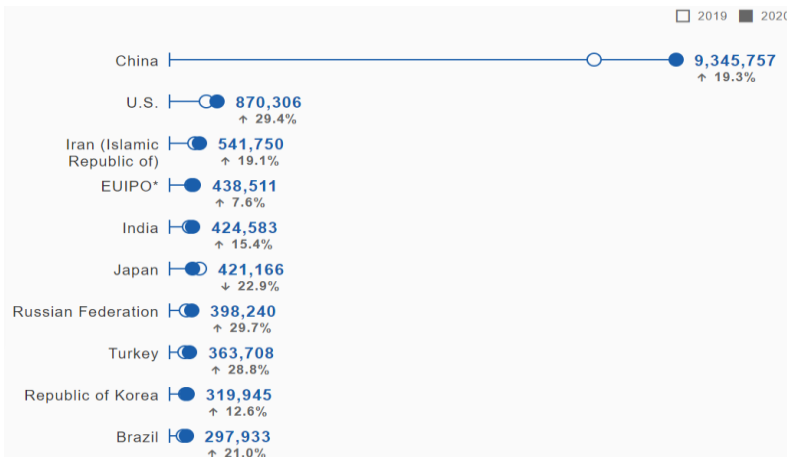
### (一) 商標出願の類別の総件数

2020 年、67%を超える商標出願活動（類別数で評価）は中国、米国、イランイスラム共和国、欧州連合知的財産権局とインドの知的財産権局で発生した。中国だけで全世界の商標出願活動の 54%以上を占めている。出願は主に中国の居住者によるものであった。



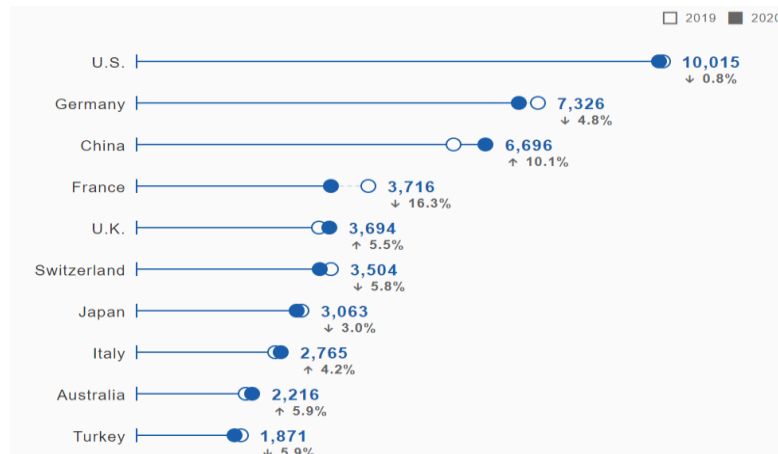
## (二) トップ10の事務局の出願の類別数

2020年、中国知的財産権局は指定類（類別数）を合計で約930万個受理した。2019年より19.3%を成長した。それに続くのは米国、イランイスラム共和国、欧州連合知的財産権局とインドであった。2020年、トップ10の事務局は全世界の総件数の78%を占めている。



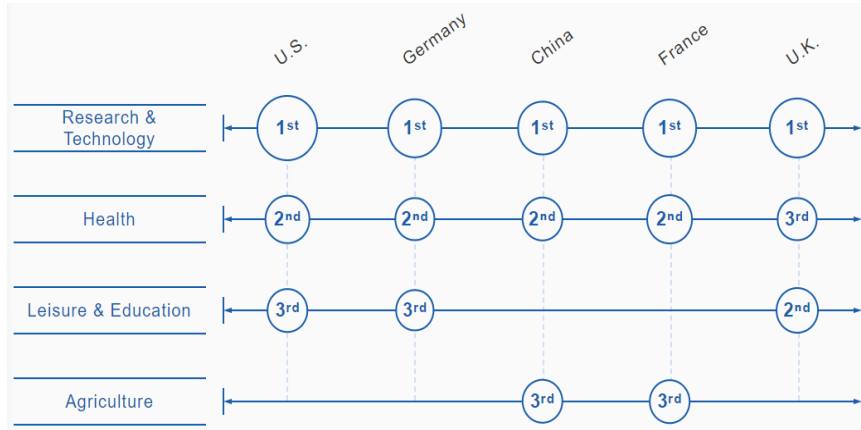
## (三) マドリッドランキングトップ10の国

2020年のマドリッド国際出願件数は約64,180件であり、2019年より0.5%減少した。全世界はコロナウイルス大流行と不景気の影響で、比較的に良い結果であった。マドリッド体系の最大ユーザーは米国、ドイツと中国からの出願人であった。2020年トップ10の国の出願は出願総件数の70.2%を占めている。



#### (四) マドリードランキングのトップ5の産業

2020年、研究と技術は依然としてトップ5の主要部門であった。



#### (五) マドリードの申請者トップ10

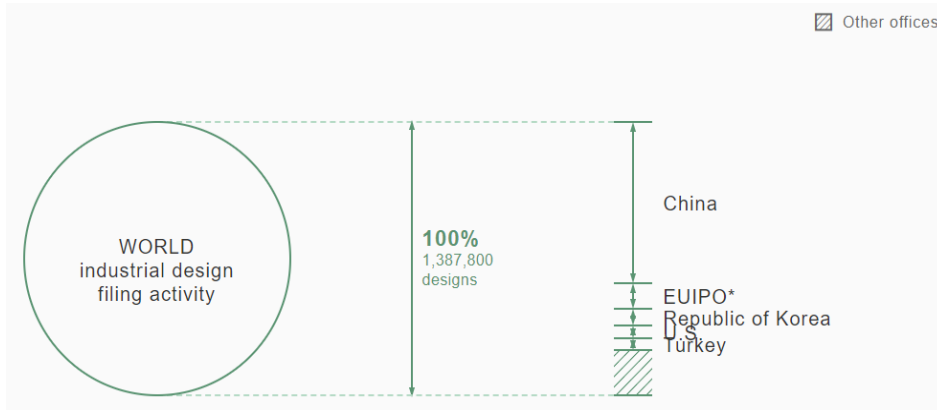
2020年にはスイスのノバルティスがマドリード体系の最大ユーザーとなり、中国の華為技術、日本の資生堂が続いた。



### 三、工業製品の意匠

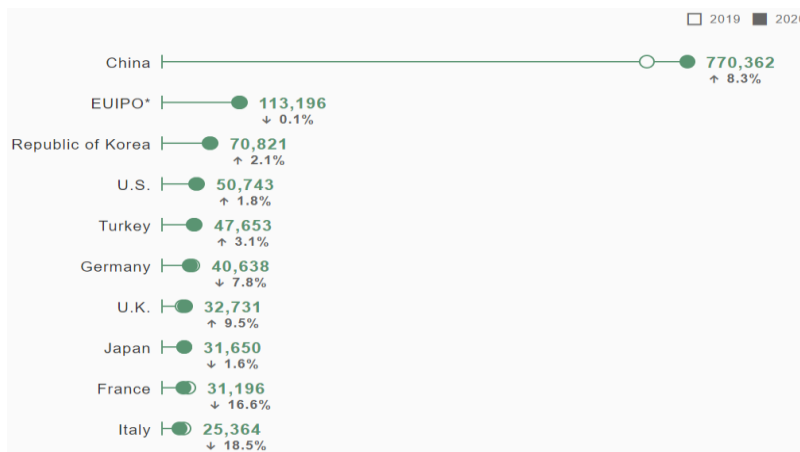
#### (一) アプリケーションデザインの総件数

2020年に提出された出願には、意匠が約140万件含まれている。そのうち、約76%は中国、欧州連合知的財産権局、韓国、米国とトルコの知的財産権局に受け取られ、中国だけでは世界の総件数の55.5%を受け取った。



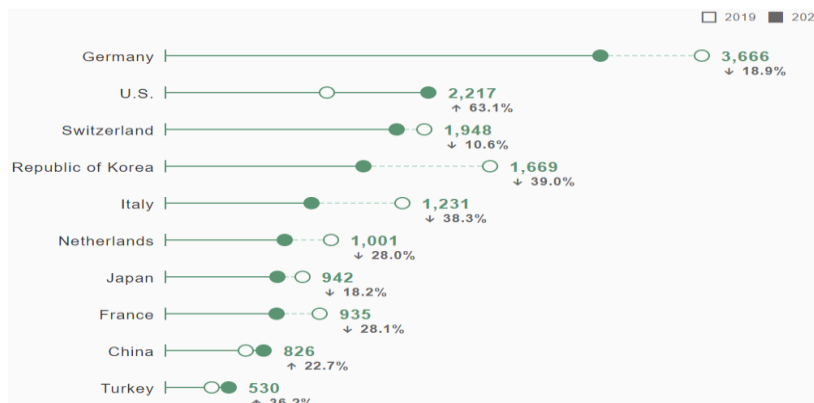
### (二) トップ 10 の事務局の意匠出願件数

2020 年、中国知的財産権局は意匠出願を合計で 77 万件以上受理した。それに続くのは欧州連合知的財産権局、韓国、米国とトルコであった。2020 年、トップ 10 の事務局の受理件数は全世界総件数の 87.5% を占めている。



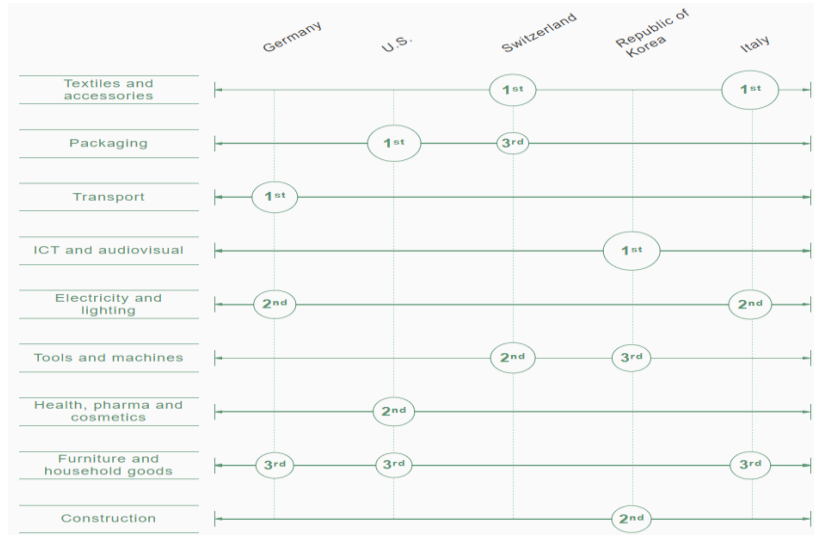
### (三) ハーグランキングトップ 10 の国

コロナウイルスの影響で、2020 年、ハーグ出願における意匠は約 18,610 件あり、2019 年より 14.9% 減少した。ハーグ体系の最大ユーザーはドイツの出願人であり、次は米国とスイスの出願人であった。2020 年、ランキングトップ 10 の国の件数はハーグ出願総件数の 80.4% を占めている。



(四) ハーグ国際出願における意匠のランキングのトップ5の産業部門

ドイツからの出願人から見れば、運輸分野での出願が最も多かった。韓国出願人の場合は ICT と視聴に関連する意匠であった。スイスとイタリアの場合、織物とアクセサリ部門の占有率は最大であった。米国出願人の方は包装分野であった。



(五) ハーグの登録者トップ 10

2020年のユーザーランキングでは韓国のサムスン電子がトップで、米国のP&GとオランダのFonkel Meubelmarketing BVが続いた。



出典:知的財産権組織統計データベース、2021年11月  
添付した「世界知的財産権指標-2021」をご参照してください。